

番号	質問・疑問
1	<p>弊社は缶ビンPETボトルを産廃として収集運搬処分しています。</p> <p>新型コロナウイルスに汚染された缶ビンPETボトルが廃棄物の中に混入しているケースもあると思われることからマスクの着用や消毒の励行を行っています。</p> <p>缶、ビン、PETボトル等にウイルスが付着している場合、ウイルスは増えていくのかそれとも減っていくのか。</p> <p>減る場合にはどのくらいの時間でどの程度まで減るのか。</p> <p>それは、季節や天候、保管状況等により変化するのか。</p> <p>収集作業員・中間処理作業員などにきちんと説明し、従業員の安全を確保したいと考えています。何卒よろしく願いいたします。</p>
2	<p>SARS-COV-2は、RNA鎖のウイルスとしてDNA鎖のウイルスに比較して変異しやすいのですか。</p> <p>変異しやすい場合には、今後、いくつかの株に分かれていく可能性はありますか？</p> <p>また人類をある程度淘汰するまで感染力や致死率が強毒化していく可能性はありますか？</p>
3	<p>WHOによれば、「本感染症は飛沫核感染の可能性も否定できない」とされています。</p> <p>現在も未知のウイルスであることは承知ですが、飛沫核感染を認めた場合、社会的パニックや経済活動が停止する影響を考慮すると、WHOがそれを正式に公表できないという、政治的圧力またはジレンマというものはあると思いますか？</p> <p>また、それは科学者として倫理的に正しい判断ですか？</p>
4	<p>本感染症を指定感染症から感染症の類に分類する場合には、どの類になりますか？</p> <p>その類に分類できる決定的な要素とは何ですか？</p>
5	<p>会社内でコロナウイルスの感染者が出た場合に、事業をある一定期間休止しなければならないということを聞きます。</p> <p>社員数、部署ごとの屋内での区分け等、事業形態により会社内での感染リスクの割合も様々で、感染者が一人出たから社員等全てが濃厚接触者に等しいとは言い切れないと考えています。</p> <p>事業を休止するべき判定基準として何か適切な考え方はありますか。</p> <p>また事業休止を判断するべき定義、又は事例などがあれば教えてください。</p>
6	<p>ニュースでは感染者数ばかりが取り上げられますが検査数は報道されません。</p> <p>検査数が多くなれば感染者数も多くなるとは思いますが、我々が感染リスクを正確に判断するためには、どのような指標に着目しておけばよいのでしょうか。</p>

7	高齢者や基礎疾患のある者に該当しない場合、新型コロナウイルス感染症の専門窓口にご相談するべき目安となる症状を教えてください。
8	無症状の感染例も多いので、仕事に就かせるべきか、休ませるべきかを判断する症状の基準が分かりません。 高齢者や基礎疾患のある者に該当せず、37.5℃未満の微熱や風邪のひき始めのような軽い体調の違和感があった場合、仕事をして大丈夫ですか。 専門窓口にご相談せずとも、新型コロナを疑って仕事を休む目安となる症状を教えてください。
9	体調の違和感を感じたが、専門窓口にご相談せずに新型コロナを疑って自主的に仕事を休んだ（濃厚接触者や保健所の健康観察の対象者にはあたらない）とする。 PCRや抗原抗体検査をすることなく症状が回復した場合に、いつから仕事に復帰していいですか。仕事に復帰する目安を教えてください。
10	新型コロナウイルス陽性者が軽症者ホテル又は自宅で療養した際に排出される可燃ごみは、一般廃棄物又は産業廃棄物のどちらに該当しますか。感染性廃棄物に該当しますか。
11	新型コロナ軽傷者が療養しているホテル又は自宅から排出されるごみを、パッカー車で収集運搬することは感染対策として適切ですか。 軽症者ホテルや自宅療養者の可燃ごみは、感染性廃棄物として取り扱うことが妥当ではないかと考えています。 少なくとも軽症者ホテルの可燃ごみを単独収集する（積み合わせしない）場合は、パッカー車の使用を避けるべきではないかと思いますが、非感染性廃棄物としての取扱いで大丈夫なのでしょうか。
12	一般廃棄物（何が入っているか分からない、いわゆる家庭からのごみや事業所からの一般ごみ）の取扱者（作業員）の不安感を払拭するために、ガイドラインなどに整理されている対策の根拠や効果を説明したいと考えていますが、どのように説明をすればいいかわかりません。
13	2020年9月環境省 環境再生・資源循環局「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」1ページに「科学的知見が必ずしも十分でない」とされています。安全、安心を確保するために必要な情報の提供をお願いします。
14	来年の夏まで継続するかどうかは予断を許さない状況となっています。 夏場まで継続した場合、猛暑下での手選別作業における熱中症防止と感染防止の双方に有効な対策と留意点を教えて欲しい。 経済的に実施できる対策があれば教えて欲しい。
15	現在、日本と同じ冬である北半球の欧州諸国において、日本に比べて感染者が多い理由は何ですか。

16	現在、夏である南半球（オーストラリア、ニュージーランド）で感染者が皆無に近いのはなぜですか。
17	冬場は密閉が大きな要因と報じられています。 夏である南半球や熱帯地域の衛生環境の良いとされている国や地域（シンガポール、台湾、香港など）で発生率が抑えられているのはなぜですか。
18	濃厚接触者の定義は、「1 m以内、15分以上」とされています。 マスクをしている場合にはこの条件に該当しませんか。 マスクの種類等に関係なく感染率は変わらないのでしょうか？
19	感染者が発生した事業所等では3日間休業とする場合が多いと聞きます。 その理由は何ですか。ウィルスはプラスチックなどの表面では72時間生存しているためですか。 3日間休業すれば大丈夫ですか？
20	屋外で非接触型体温計で測定した場合、低めに表示されるように感じますが、非接触型体温計で計測する場合の注意事項はありますか？
21	PCR検査を受ける適切なタイミングについて教えてください。 どのような症状が出た場合に、症状を自覚した後どのくらいの時間を経過して受ければ良いのでしょうか？
22	無症状感染者は、想定される感染日から2週間経過すれば問題なし（PCR検査しない）とされていますが、その理由は何ですか？ 当社では、念のため、再検査で陰性結果が出るまで出社を認めませんでした。
23	家族が濃厚接触者に該当した場合、社員を出社させる判断材料があれば教えてほしい。 当社では、PCR検査結果が出るまで出社させていないが、時間がかかります。
24	発熱の症状が出た場合、当社では出社させていませんが、出社させるタイミングがわかりません。 PCRの結果結果が出るのを待つのが適切だと思いますが、会社負担ではキリがないし、個人負担だとやりたがりません。
25	コロナ廃棄物が専用容器に入れられた後、どれくらいの時間で自然死滅するか、または死滅しないのかご教示いただきたい。 また、衣類やカバン等にウイルスが付着した場合の死滅期間はどのくらいか。 外履きの靴底等にウイルスが付着する可能性はあるか。 コロナ廃棄物は、どのくらいの時間を経過すれば感染リスクがなくなるのか。

26	<p>コロナ廃棄物の感染リスクがなくなる場合、死滅するまでの期間を排出元で保管した後、処理業者に搬入し、通常の医療系廃棄物と同等の処理をするということは可能かご教示いただきたい。</p>
27	<p>コロナ発症者が家庭で使用した廃棄物は何に該当するのか。 それを廃棄する際に特別な措置が必要かご教示いただきたい。</p>
28	<p>社員・従業員及びその家族に陽性（家庭内感染等含み）を疑われる者が発生し、その感染源が不明で、かつ会社がコロナ感染性廃棄物を取扱っている場合に、会社が感染源として判定されることがありますか。</p>
29	<p>産廃処理業務において感染が発生した場合、補償等について企業の責任が問われますか。</p>
30	<p>産廃処理業務を進めるにあたり、従業員から感染者が出た場合に、企業内の対応及び顧客への対応についての基本的に取り組むべき内容を教えて欲しい。</p>
31	<p>事務所の換気について 弊社では各フロアにロスナイ換気（給気で外気を取り入れて、室内空気を排気）が搭載されたエアコンを導入している。 厚生労働省のガイドラインによると「商業施設等における換気の悪い密閉空間を改善するための換気については、機械換気による場合は、一人当たり 30m³/h の換気量が確保されていれば、感染を確実に予防できるとはいえないものの、換気の悪い密閉空間には当たらない」と発表されている。 部屋の大きさ及び換気量にもよると思うが、ロスナイ換気を常時行って二酸化炭素濃度測定結果が 1,000ppm を超えないことが確認された場合は、ロスナイ換気のみでの対応で良いのか？ （季節によっては、窓を開けることにより室温が上昇・低下してしまう。）</p>
32	<p>1 台の車両を複数の運転手が交代して運行している。 新型コロナウイルスの感染経路としては「接触感染、飛沫感染」が一般的であるが、「空気感染」もする可能性も指摘されている。 各車両は、次亜塩素酸水を利用して消毒を行っているが、乗務員が乗車した車両に別の乗務員が乗車する際に注意すべき点はあるか。 注意点例 1：飛沫核は 3 時間程度感染性を有するとの報告があるため、乗務終了後車に内換気を○時間程度行った方が良い。 注意点例 2：次亜塩素酸水は有機物に触れると反応して効果がなくなってしまうため、アルコール消毒液の方が良い、など。</p>

33	<p>環境省は、新型コロナウイルスが付着する可能性のある廃棄物（マスク、ティッシュ、ビニール手袋等）は「ビニール袋にまとめて、しっかり口を縛って排出する」こととしている。</p> <p>しかしながら全ての事業者や一般市民がこれを順守しているとは言えない。</p> <p>廃棄物回収の際に「手袋・ゴーグル・マスクの着用」を指示しているが、パッカー車での回収時にビニール袋が破裂した場合、新型コロナウイルスはどの程度飛散するのか。</p> <p>収集作業員を感染から守るためには、どのような対策を講じておけば良いのか。</p>
34	<p>当社では、収集作業員にフェイスシールドやマウスガードではなく、マスクを着用させて作業を行っている。</p> <p>会社によっては、フェイスシールドやマウスガードを着用し、マスクを着用しないケースも多く散見される。</p> <p>乗務員や作業員から、マスク着用は作業がしにくいとの声が挙がっているため、フェイスシールドやマウスガードの着用を検討したいが、効果の違いを教えて欲しい。</p>
35	
36	
37	
38	